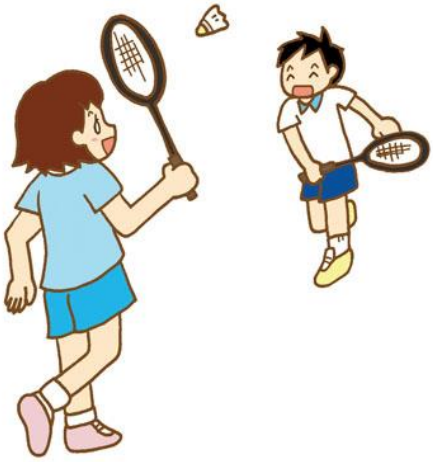
YA おすすめ本

10 月



秋をたのしく

西条市立西条図書館
住所：西条市大町 1590
電話：0897-56-2668
開館時間：9：00A.M.～22:00P.M.

おすすめＹＡ新書

原子力災害からいのちを守る科学

小谷 正博著，小林 秀明著，山岸 悦子著，渡辺 範夫著	岩波書店	５３９／ケ

放射線は、私たちのからだにどう影響するのだろう。そもそも原子力とはどういうエネルギーか。放射性物質の性質、半減期や除染の本当の意味などを、原子の構造や周期表、DNAの基礎からやさしく解説。

悲しみを生きる力に

入江 杏著	岩波書店	９１６／イ

2000 年 12 月、一家 4 人が殺害された「世田谷事件」。突然妹一家を失った著者が、自らの体験をもとに、つらく、悲しい思いを抱える人へ送る希望のメッセージ。

故郷の風景

佐藤 正英著	筑摩書房	３８７／サ

日本人なら誰もが、懐かしく、心地よく感じる原風景。そこには、自然や神仏と接する 3 つの時間と空間がある。失われた近代日本の土俗の風物と暮らしを、美しい文章でたどり返す。

虹の西洋美術史

岡田 温司著	筑摩書房	７２３／オ

出現の謎や美しさから古代より神話・科学・芸術などのテーマとなってきた虹。西洋美術で虹がどう捉えられ描かれてきたかを、カラー口絵をはじめとする多数の絵画作品とともに読み解く。

食べものがおいしく、読書やスポーツに向いている秋がやってきました。
旬の食材で料理をしたり、秋の夜長に読書をしたり、気候のよさを生かしてスポーツにとりくんだり・・・。
今月は秋を楽しく過ごす本を紹介します。

『カリカリベーコンはどうして美味しいにおいなの？』

ANDY BRUNNING 著，高橋 秀依 訳，夏苅 英昭訳	化学同人	４９８．５／フ

ミントはどうして口のなかでスーッとするの？ タマネギを切ると、どうして涙が出るの？ 食べ物や飲み物にまつわる奇妙で面白い話をとりあげ、それらのもとになる化学をわかりやすくシンプルに説明する。

『いのちの食べかた』

森 達也著，100%ORANGE 装画・挿画	イースト・プレス	６４８／モ

魚は切り身で泳いじゃいない、そんなことは知っている。では、毎日食べるお肉はどこからどうやって、やってくる？「東京都中央卸売市場食肉市場」の様子を紹介しながら、生きるために食べるいのちについて考える。

『おいしい和食のキホン』

村林 新吾著，相可高校調理クラブ著	岩波書店	５９６／オ

「これが高校生のつくった料理!?」と驚きの声が上がる「高校生レストラン」の秘密とは？ だしのとり方、ごはんの炊き方から、野菜や魚の下ごしらえ、カレーライスなどのつくり方までを、豊富な写真とともに紹介します。

『99%の人が速くなる走り方』

平岩 時雄著	筑摩書房	７８２．３／ヒ

走ることは全てのスポーツの基本。でも、走るには技術が必要です。国際舞台で活躍するアスリートを指導するプロのトレーニングコーチが、99%の人が速くなる、正しい走り方を解説。

『ふたりの文化祭』

藤野 恵美著	ＫＡＤＯＫＡＷＡ	９１３．６／フ

高 1 の九條潤はスポーツ万能。同じクラスで図書委員の八王寺あやは、盛り上がりに入れずにいた。文化祭で一緒にお化け屋敷をやることになったふたりだったが、性格の違いにちぐはぐし…。『小説野性時代』連載を単行本化。

『わたしが芸術について語るなら』

千住 博著	ポプラ社	７０４／セ

絵画や音楽、映画、文字を通して他人へ自分の思いを伝えること。それが芸術の大きな役割であり、人と人とが仲良くする知恵でもあるのです-。世界を舞台に活躍する日本画家が「芸術とは何か」を語ります。

『食べるってどんなこと？』

古沢 広祐著	平凡社	４９８／フ

食べ物はどこから来る? 日本の食糧自給率はなぜ低い? 食べ物の未来はどうなる? 日常の疑問にはじまり、生きる基本「食」を根っこから考える。「スローフードな日本!」の著者・島村菜津との対談も収録。